

目次

健康および安全性の注意	3
一般的な使用上の注意	3
1. 概要	4
1.1. パッケージ内容	5
1.2. システム必須要件	6
1.3. Little Big Disk Quadra の外観	7
1.4. ケーブルおよびコネクタ	8
2.5.1. FireWire 400 と 800 のケーブルおよびコネクタ	8
1.4.2. USB ケーブルおよびコネクタ	9
1.4.3. eSATA ケーブルおよびコネクタ	10
1.5. ハード ディスクの熱管理	11
2. 接続	12
2.1. 電源の接続	13
2.2. インタフェース ケーブルの接続	14
2.3. LaCie Setup Assistant を起動する	16
2.4. 複数のデバイスを接続する	17
2.5. LaCie ハード ディスクを取り外す	18
2.6. インタフェースの切り換え	18
3. フォーマットおよびパーティション (オプション)	19
3.1. ファイル システム フォーマットの決定	20
3.2. フォーマット : Windows をご使用の方	21
3.2.1. FAT32 から NTFS へのフォーマット	21
3.2.2. HFS+ (Apple ファイル システム) から NTFS へのフォーマット	23
3.3. フォーマット : Mac をご使用の方	25
4. トラブルシューティング	26
Mac のトラブルシューティング	26
Windows のトラブルシューティング	28
5. カスタマ サポートへのお問い合わせ	30
カスタマ サポートへお問い合わせになる前に	30
LaCie カスタマ サポートへの問い合わせ	31
保証について	32

■ ご注意 ■

2010年1月より、日本市場でのLaCie商品販売はエレコム株式会社が行っております。LaCie製品は海外でも幅広く販売されており、LaCie社が管理・運営するグローバルサイト、Webリンク先の情報、商品、ソフトウェア、サービス等は、日本市場でお取り扱いの無い、またはサポート対象外のものも含まれます。あらかじめご了承ください。

著作権

Copyright © 2007 LaCie. All rights reserved.
電子、機械、コピー、記録など、様式や手段の如何を問わず、本書のいかなる部分も当社の書面による事前の承諾なしで複製、読み出しシステムでの保存、伝送を行うことを禁じます。

商標について

Apple、Mac および Macintosh は、Apple Computer, Inc. の登録商標であり、Microsoft、Windows 98、Windows 98 SE、Windows 2000、Windows Millennium Edition、Windows XP および Windows Vista は、Microsoft Corporation の登録商標です。本マニュアルに記載されているその他の商標は、関連各社に帰属します。

変更について

本マニュアルに記載されている情報は参考のみとして提供され、予告なく変更することがあります。本書の作成にあたっては正確さを期していますが、本書に掲載された情報の誤謬または省略に起因する、あるいは本書に記載する情報を利用した結果により生じる損害に対して、当社は一切の責任を負いません。当社は、無条件で製品の設計または製品マニュアルの変更や改訂を予告なく実施する権利を有します。

カナダ適合規定

本クラス A デジタル機器は、カナダ干渉発生機器規定 (Canadian Interference-Causing Equipment Regulations) のすべての要件を満たしています。

FCC Statement



本装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は次の条件に基づきます。

1. 本装置は有害な電波障害の原因となってはならない。
2. 本装置は誤動作の原因となる妨害を含め、受信する妨害を許容しなければならない。

注記：本機器は、FCC 規則 Part 15 に定められた クラス B デジタル装置に関する規制要件の試験に合格し、同規則に準拠することが証明されています。これらの規定要件は、住宅に設置する際、有害な干渉から適切に保護するために定められています。本機器は、無線周波数帯域のエネルギーを発生し使用するもので、これを放射する場合もあります。また、本取扱説明書の指示に従って設置および利用しない場合、無線通信に有害な干渉をもたらす場合があります。ただし、特定の設置方法において干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオ、テレビの受信に有害な干渉をもたらす場合（これは本機器の電源のオン/オフにすることにより判断できます）、次の方法により干渉の解決を試行することをお勧めします。

- ◆ 受信アンテナの向き、または位置を変える。
- ◆ 本機器と受信機の距離を離す。
- ◆ 受信機が接続されているものとは異なる別系統のコンセントに、本機器を接続する。
- ◆ 販売代理店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。

LaCie の承認を受けずに本機器に変更または修正を加えると、FCC およびカナダ適合規定に違反し、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

CE 認証に関するメーカーの宣言

当社は、本機器が以下の欧州規格に準拠していることを明言します。Class B
EN60950、EN55022、EN55024

下記条件に関して：73/23/EEC 低電圧指令、89/336/EEC EMC指令



本製品または梱包箱に示されたこの記号は、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならないことを意味します。電気・電子製品廃棄物をリサイクルする所定回収場所に該当機器を持ち込んで処分する責任は、ユーザーにあります。他のゴミと分別して、機器廃棄物の回収やリサイクルを行うと、自然資源の保護に役立ち、人の健康や環境を保護するような方法でリサイクルが行えます。使用済み機器をリサイクルする際の回収場所に関する詳細は、お住まいの地方自治体の家庭廃棄物担当部署または本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

注意：FCC の定める電波規制に適合し、さらに周辺のラジオやテレビ受信に干渉を引き起こさないよう、必ずシールド タイプの電源コードを使用してください。必ず、付属の電源コードのみを使用してください。

健康および安全性の注意

- ◆ 本製品の保守作業は、有資格者のみが行えます。
- ◆ デバイスの設定にあたっては、本ユーザー マニュアルを十分に読み、正しい手順に従ってください。
- ◆ LaCie Big Disk Extreme+ を開けたり、分解または改造しないでください。感電、火災、ショート、有害な放出などの危険を避けるために、ドライブに金属物を挿入しないでください。LaCie Big Disk Extreme+ には、お客様ご自身で修理可能な部品は一切含まれていません。故障が起きたと思われる場合は、資格を有する LaCie テクニカル サポート担当者に点検をご依頼ください。
- ◆ デバイスを雨に晒したり、水の近く、または湿気の多い場所、濡れた状態で使用しないでください。本製品の上には、中に液体の入ったものを置かないでください。こぼした場合に、装置の開口部分から液体が中に入る恐れがあります。これにより、感電、ショート、火災、けがな

どの危険性が高まります。

- ◆ 電源要件は、100-240 V~, 1.5 A、60~50 Hz となっています (過電圧カテゴリ II に従って、供給電源の変動範囲は公称、過渡過電圧の $\pm 10\%$ 以内に収まるようにしてください)。

一般的な使用上の注意

- ◆ デバイスは、温度 $5^{\circ}\text{C} \sim 35^{\circ}\text{C}$ ($41^{\circ}\text{F} \sim 95^{\circ}\text{F}$)、動作湿度 $5 \sim 80\%$ (結露なし)、保管湿度 $10 \sim 90\%$ (結露なし) の範囲内で使用し、その範囲外の温度や湿度には晒さないでください。この温度・湿度で使用すると、本製品は損傷したり、ケースが変形することがあります。また、熱源の近くに置いたり、直射日光 (窓越しの直射日光も同様) に当てないでください。逆に、極端に低温の場所または湿気の多い場所に置くと、本製品は損傷する恐れがあります。
- ◆ 落雷の恐れがある場合、または長時間使用しない場合は、必ず LaCie Little Big Disk Quadra のプラグをコンセントから抜いてください。プラグを差し込んだままにすると、感電、ショート、火災の危険性が高まります。
- ◆ デバイスに同梱されている電源装置のみを使用してください。
- ◆ 本製品を、テレビ、ラジオなど他の電気器具の近くで使用しないでください。そのような器具の近くで使用すると干渉を起こし、他の製品の動作に悪影響を及ぼします。
- ◆ 本製品をコンピュータのディスプレイ、テレビ、スピーカーなど、磁気干渉を起こすものの近くに置かないでください。磁気干渉により、本製品の動作や機能の安定性に影響を及ぼすことがあります。
- ◆ 本製品に過度の負荷をかけて使用し

ないでください。問題に気づいた場合は、本書の「トラブルシューティング」を参照してください。

注意：上記の注意事項を遵守しないことによって生じた障害については、本製品の保証対象外となります。



重要な情報：本製品の使用中に生じたデータのいかなる損失、改悪、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても当社はそのデータの回復または修復について責任を負いません。データの損失を避ける手段の1つとして、データのコピーを2部取ることをお勧めします。たとえば、1部を外付けハードディスクに取り、もう1部を内部ハードディスクや別の外付けハードディスク、またはリムーバブルストレージメディアに取ります。LaCie では、CD、DVD およびテープドライブの豊富な製品ラインを提供しています。バックアップについて詳しくは、当社の Web サイトをご覧ください。



重要な情報：1GB は 10 億 (1,000,000,000) バイトです。1TB は、1000 GB です。フォーマット後に実際に利用可能なストレージ容量は、動作環境によって異なります (通常 $5 \sim 10\%$ 減)。

1. 概要

このたびは LaCie Little Big Disk Quadra をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。4 種類のインターフェースを利用できる本ハード ディスク システムは、データ管理に役立つ互換性、利便性、大きな記憶容量を兼ね備えています。LaCie の外付けハード ディスク システムはクロスプラットフォームに対応しており、Mac および PC の両方で使用することができます。また接続は、FireWire 800、FireWire 800/400、Hi-Speed USB 2.0 インターフェースまたは eSATA インターフェースのいずれかを介して行います。さらに、ニーズに応じて、LaCie drive のフォーマットおよびパーティションをカスタマイズすることができます。

LaCie Little Big Disk Quadra は、次のようなハイエンドで通信量の多い多岐に渡る環境での使用に適しています。

- ◆ デジタル コンテンツの作成
- ◆ プロ用のデータ交換機能
- ◆ 持ち運びに便利なビデオ

Little Big Disk Quadra の機能

- ◆ USB 2.0、FireWire 400、FireWire 800、eSATA のインターフェース
- ◆ eSATA 接続時で 3 GBit/s の帯域幅
- ◆ デイジーチェーン接続で、デジタル ビデオ カメラを直接ドライブに接続可能
- ◆ ほとんどの Mac や PC に接続可能
- ◆ コンピュータ内蔵のハード ディスクのバックアップが可能
- ◆ 複数コンピュータ間でのデータの保存と交換が可能

クイックリンク

ここをクリックして次のセクションに移ってください:

- ◆ 接続
- ◆ 複数のデバイスの接続
- ◆ トラブルシューティング



1.1. パッケージ内容

Little Big Disk Quadra パッケージには、ドライブ スタンドが接続されたシステム タワーおよび以下の2～7のアイテムが格納されたアクセサリ ボックスが含まれています。

- ① LaCie Little Big Disk Quadra
- ② FireWire800 ケーブル
- ③ FireWire 800/400 ケーブル (9:6- ピン)
- ④ USB ケーブル
- ⑤ eSATA ケーブル
- ⑥ 外部電源装置
- ⑦ クイック インストール ガイド



注記:ユーザーマニュアルとソフトウェア ユーティリティは、あらかじめハード ディスクにロードされています。



重要な情報: 購入時の梱包材は保管しておいてください。LaCie ハード ディスクの修理または点検が必要になった場合、必ず製品の包装箱に梱包してご返送ください。



1.2 システム必須要件



Windows をご使用の方

- ◆ Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
- ◆ 512 MHz プロセッサ以上
- ◆ 128MB の RAM (512MB を推奨)
- ◆ eSATA*、USB 2.0、FireWire 400 または FireWire 800 インタフェース ポートを使用可能



Mac をご使用の方

- ◆ Mac OS X 10.2.8 (eSATA の場合は、Mac OS X 10.3) 以降
- ◆ G4、G5、Intel Core Duo、または Intel Core 2 Duo
- ◆ 128MB の RAM (512MB を推奨)
- ◆ eSATA*、USB 2.0、FireWire 400 または FireWire 800 インタフェース ポートを使用可能

* ほとんどのコンピュータでは、工場出荷時に FireWire 800 や eSATA ポートが装着されていません。そのため、これらのインタフェースで Little Big Disk Quadra を接続するには、PCI、PCI-X、または PCI-Express カードが必要な場合があります。

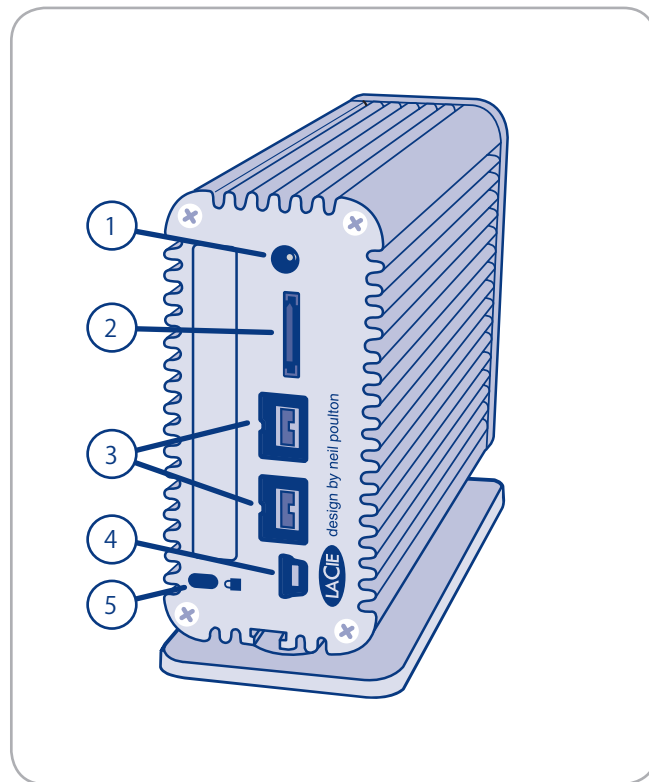
LaCie では、多様な eSATA および FireWire 800 カードを提供しています。www.lacie.com/accessoriesをご覧ください。

1.3. Little Big Disk Quadra の外観

背面図

- ① 電源入力ジャック
- ② eSATA ポート
- ③ FireWire800 ポート
- ④ Hi-Speed USB 2.0 ポート
- ⑤ ロック スロット - このスロットは、ハード ドライブを最大限に保護するための Kensington セキュリティ ロックなどの盗難防止チェーン ロックを接続するために使用します。

* Kensington © 2007 Kensington Computer Products Group



1.4. ケーブルおよびコネクタ

2.5.1. FireWire 400 と 800 のケーブルおよびコネクタ

IEEE 1394 としても知られている FireWire 400 は、周辺機器とコンピュータを相互に接続するための高速シリアル入力/出力テクノロジーです。FireWire 800 は、新しい IEEE 1394b 規格の実装です。

FireWire 800 は、さらに高い帯域幅とデバイス間の距離拡張を提供します。FireWire 800 は、オーディオ、ビデオ、グラフィックなど、帯域重視のアプリケーションに最適です。

FireWire ケーブル

本製品には FireWire 800 ケーブル と FireWire 800/400 ケーブルが同梱されています。お客様のコンピュータに FireWire 400 ポートのみしか付いていない場合、FireWire 800/400 を使用してください。



FireWire 800 ケーブルの両端子



FireWire 800/400 ケーブルの両端子

FireWire の利点

- ◆ ホットプラグ可能：バスがアクティブ状態でもデバイスを追加したり取り外すことができます。
- ◆ 等時性データ配信：ノン ドロップ フレーム - FireWire は、リアルタイム データ デリバリーをサポートします。
- ◆ 柔軟性：1 つのバスに最高 63 個のデバイスを接続できます。
- ◆ FireWire 800 は、アービトレーションおよびシグナルの歪みによる遅延を減少し、スループットを増大します。
- ◆ 下位互換性：アダプタ ケーブルを使用することにより、FireWire 800 ポートの環境下で FireWire 400 デバイスを使用できます (ただし、スピードは FireWire 400 になります)。

1.4.2. USB ケーブルおよびコネクタ

USB は、周辺装置とコンピュータを相互に接続するためのシリアル入力／出力テクノロジーです。Hi-Speed USB 2.0 は、この規格の最新の実装であり、ハード ドライブ、CD/DVD ドライブ、デジタル カメラなどの高速デバイスをサポートするために必要な帯域とデータ転送速度を提供します。

USB 2.0 ケーブル

Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続したときに最大のデータ転送パフォーマンスを確保するために、本製品には Hi-Speed USB 2.0 ケーブルが付属しています。ケーブルは USB ポートに接続した場合も機能しますが、ドライブのパフォーマンスは USB 1.1 の転送速度に制限されます。



USB ケーブルの両端子

Hi-Speed USB 2.0 の利点

- ◆ 下位互換性：Hi-Speed USB 2.0 は、初代 USB 仕様でも動作します。
- ◆ ホットスワップ可能：デバイスを追加または取り外すときに、コンピュータをシャットダウンしたり再起動する必要がありません。

1.4.3. eSATA ケーブルおよびコネクタ

LaCie Little Big Disk Quadra は、最新 SATA テクノロジーを採用して最大 3G Bit/s の転送速度を実現します。SATA テクノロジーは当初、内部インタフェースとして開発され、コンピュータ内部の接続の性能を改善しました。その後すぐに、eSATA (SATA の外付け規格) が開発され、PC 外部でシールドケーブルを使えるようになりました。

eSATA テクノロジーは堅牢性と耐久性を高めるために開発され、eSATA コネクタには、その他の SATA コネクタで見られる L 字形のデザインはありません。加えて、ガイド機能は垂直オフセットとなっており、外付けアプリケーションで非シールドの内部ケーブルが使用できないように、サイズが縮小されています。

eSATA ケーブル

本製品には、eSATA ポートに接続されたときに最高のデータ転送性能を確保するための eSATA ケーブルが同梱されています。



eSATA ケーブルの両端子

eSATA の利点

- ◆ eSATA インタフェースは、最大 3 Gbits/s の転送速度を達成します。
- ◆ プラグの方向 - コネクタの外側に突起があるため、差し込みにコネクタのガイドと位置合わせが簡単にできます。
- ◆ ホットプラグをサポート - eSATA により、システムの電源を切ったり、リブートを行わなくても、ハードディスクの取り付けおよび取り外しができます。

1.5. ハードディスクの熱管理

熱を分散させる設計

Little Big Disk Quadra の金属ボディは、ドライブ内部の熱を自然に分散させます。この独特な設計は、内部のドライブから外装ケースに熱を引き出します。表面積の大きいヒートシンク ケースが内部の熱を吸収して分散し、ドライブの安全性を保ちながら、寿命と信頼性を引き伸ばします。その結果、外装ケースに触れたときに熱くなっているのも正常です。

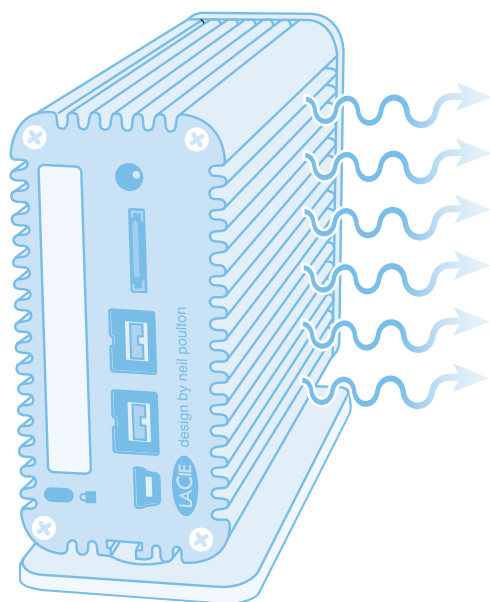
気流の最大化

Little Big Disk Quadra を水平位置で使用できる場合は、Little Big Disk Quadra が縦置きになり、ケースのすべての側面の気流が十分になり熱の分散が最大化されます。LaCie では、同梱されているスタンド足を使用して Little Big Disk Quadra の周囲の気流を最大化することをお勧めします。

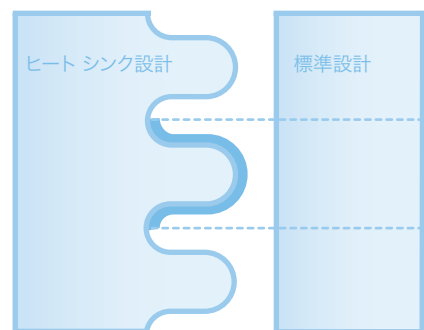


重要な情報： Little Big Disk Quadra ドライブを重ねて置かないでください。

独自のヒートシンク設計



標準の設計よりも多くの熱分散を提供



2. 接続

LaCie Little Big Disk Quadra は、LaCie Setup Assistant を使うことによって簡単にインストールできます。Little Big Disk Quadra のインストールは、次の 3 つの手順で行います。

- ◆ ステップ 1 – USB および eSATA ユーザーのみ – 電源を接続します (セクション 2.1)
- ◆ ステップ 2 – インタフェース ケーブルを接続します (セクション 2.2)
- ◆ ステップ 3 – LaCie Setup Assistant を実行してシステムで最適なパフォーマンスをするようにドライブをフォーマットします (セクション 2.3)



重要な情報：一度に複数のインタフェースを接続しないでください。インタフェースを切り替えるには、セクション 2.6 インタフェースの切り替え の手順に従ってください。



重要な情報：LaCie ハード ディスクが正しくお使いのコンピュータにマウントされるように、設定手順の順序に従ってください。

2.1 電源の接続



技術面での注意：電源の接続は USB および eSATA 接続でのみ必要です。Windows ユーザーで iLink を使用して接続している場合も電源を接続する必要があります。

電源を接続するには:

1. 電源コードを電源装置に接続します。
2. 電源を Little Big Disk に接続して壁のコンセントまたはサージプロテクタに接続します。

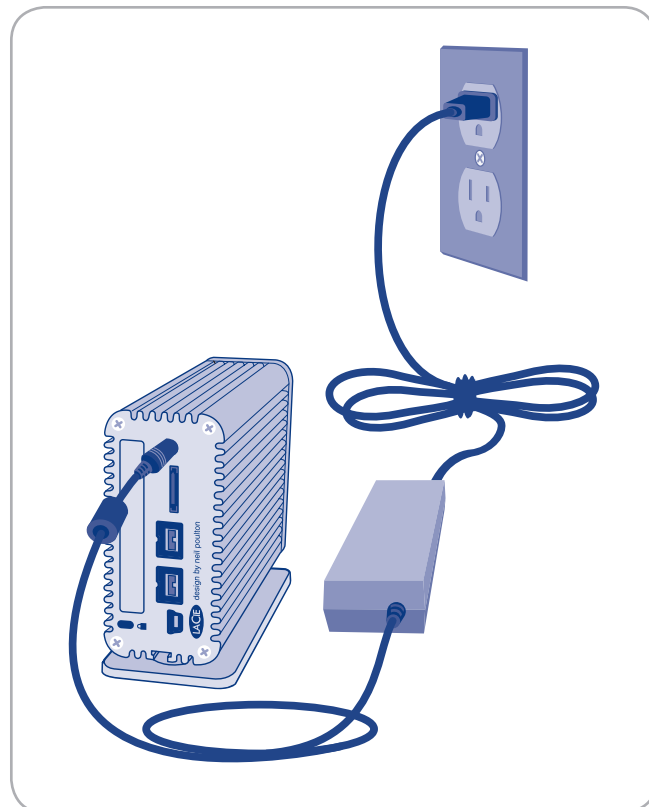


図 2.1

2.2. インタフェース ケーブルの接続

USB 2.0、FireWire 800 および eSATA

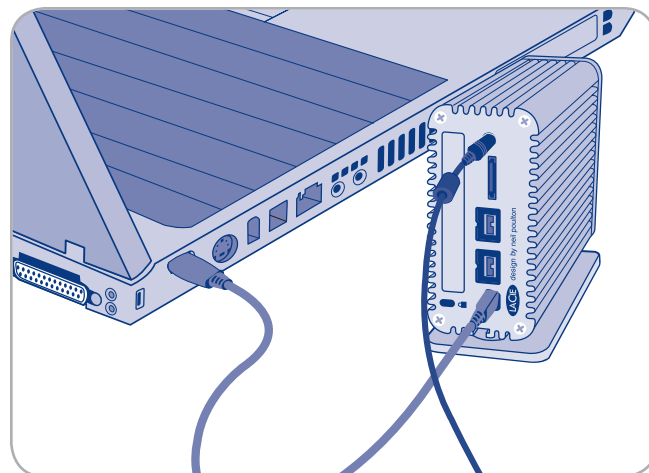


重要な情報：USB 2.0 および eSATA ユーザーは、インタフェース ケーブルを接続する前に電源を接続し、ボリュームが正しくコンピュータにマウントされるようにします。

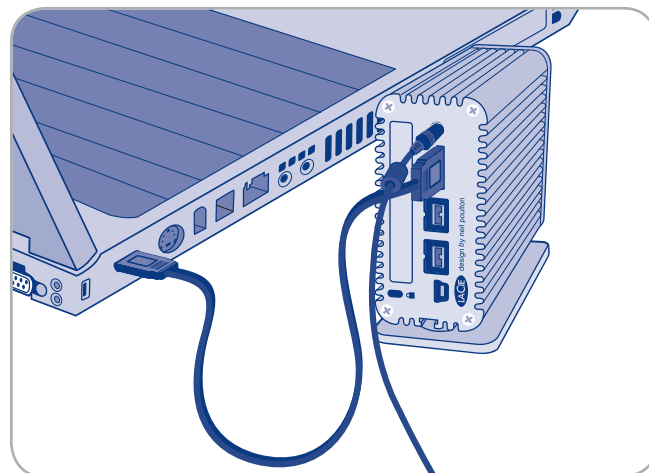
インタフェース ケーブルを接続するには:

1. Little Big Disk を USB 2.0 または eSATA を介して接続している場合は、オプションの電源を接続します。[2.1. 電源の接続](#)を参照してください。
2. インタフェース ケーブルの端をコンピュータに接続します。
3. インタフェース ケーブルのもう一方の端を LaCie ハードディスクの対応するポートに取り付けます。
4. 数秒すると、小さな LaCie パーティションがコンピュータにマウントされ、[マイ コンピュータ] (Windows の場合) またはデスクトップ (Mac の場合) に表示されます。
5. セクション [2.3. LaCie Setup Assistant を起動する](#)

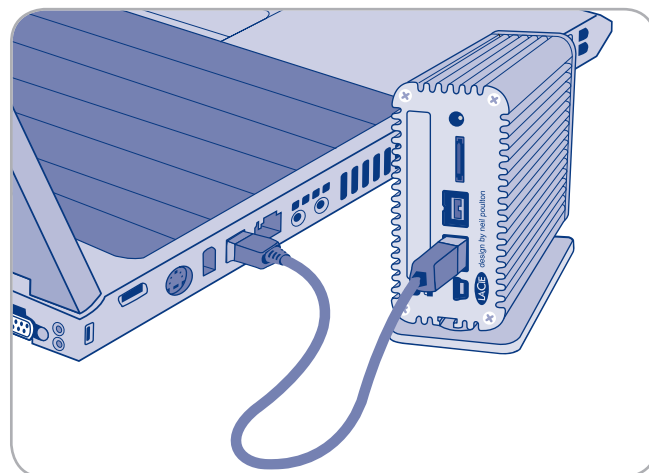
FireWire 400 接続についての詳細は、次のページをご覧ください。



USB 接続



eSATA 接続



FireWire 800 接続

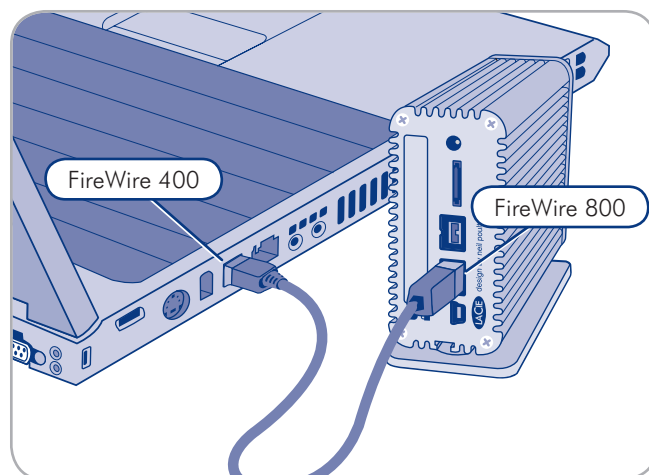
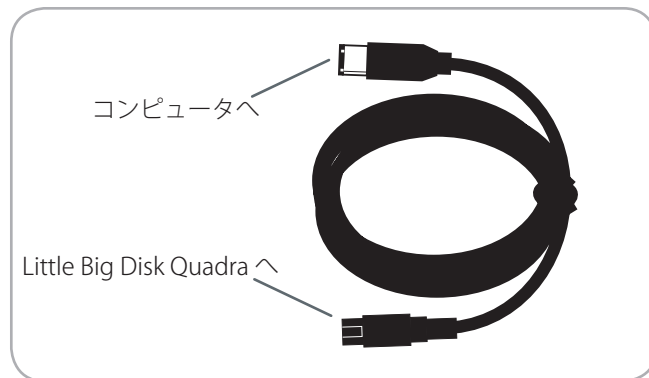
FireWire 400 接続

Little Big Disk を FireWire 400 を介して接続するには:

1. FireWire 800/400 ケーブルの FireWire 800 の端を Little Big Disk Quadra に接続します。
2. FireWire 400 ケーブルの端子をコンピュータの FireWire 400 ポートに接続します。
3. 数秒すると、小さな LaCie パーティションがコンピュータにマウントされ、[マイ コンピュータ] (Windows の場合) またはデスクトップ (Mac の場合) に表示されます。
4. セクション 2.3. [LaCie Setup Assistant](#) を起動する



重要な情報：このタイプの接続の転送速度は、FireWire 400 インタフェースの速度に制限されます。



FireWire 400 接続 (FireWire 800/400 ケーブル)

2.3. LaCie Setup Assistant を起動する

ドライブを使用する前に、LaCie Setup Assistant ソフトウェアを起動してドライブをフォーマットする必要があります。以下の内容が実行されます。

- ◆ 用途にあわせてハード ディスクを最適化
- ◆ マニュアルおよびユーティリティを LaCie ハード ディスクにコピーする



重要な情報：LaCie では、セットアップが完了したときにユーザー マニュアルおよびユーティリティをコンピュータの内部ハード ディスクまたはその他のメディアにコピーすることを推奨します。

LaCie Setup Assistant を起動するには:

Windows をご使用の方：[マイ コンピュータ] の [LaCie] アイコン (または Windows Vista の場合は [コンピュータ]) をダブルクリックします。

Mac をご使用の方：デスクトップに表示される [LaCie Setup Assistant] アイコンをダブルクリックします。



重要な情報：LaCie Setup Assistant を起動していなかったり、またフォーマットの完了前にLaCie Setup Assistant を終了してしまうと、ハード ディスクの使用準備が整わないため手動でフォーマットする必要があります。ユーザー マニュアルやユーティリティもハード ディスクにコピーされませんので、次の LaCie Web サイトから自分でダウンロードする必要があります。 www.lacie.com/jp



技術面での注意：LaCie Setup Assistant を使った場合も、ご利用のコンピュータの標準のディスク ユーティリティプログラムで LaCie ディスクのフォーマットやパーティションを行えます。Setup Assistant を完了させた後、コンピュータの標準のディスク ユーティリティ (Windows の場合はディスクの管理、Mac の場合はディスク ユーティリティ) でハード ディスクを再フォーマットできます。詳しくは、「3. フォーマットおよびパーティション」を参照してください。

2.4 複数のデバイスを接続する

FireWire 400 と FireWire 800 の両インタフェースでは、別のハード ドライブ、DVD±RW ライターやデジタル ビデオ カメラを直接 LaCie Little Big Disk Quadra に接続できます (この接続は、「デジチェーン接続」と呼ばれています)。

デバイスをデジチェーン接続するには、すべてのデバイスを FireWire を介して接続する必要があります。Hi-Speed USB 2.0 インタフェースでコンピュータに接続されているハード ディスクに FireWire デバイスを取り付けるといったように、インタフェースが混在している場合、コンピュータでデジチェーン接続のデバイスが検出されません。



技術面での注意：デジチェーンで FireWire 400 インタフェースと FireWire 800 インタフェースが混在している場合、データ転送速度は FireWire 400 の速度に制限されます。

1. セクション 2.1 および 2.2 のステップに従って、LaCie Little Big Disk Quadra の電源およびホスト コンピュータ インタフェースを接続します。
2. デジタル ビデオ カメラ*を接続するには*：
 - a. iLink/DV ケーブル (別売) を使用して、ケーブルの 4 ピン端子をデジタル カメラの 4 ピン ポートに接続します。
 - b. iLink/DV ケーブルの 6 ピン端子を LaCie ハード ディスク背面の 6 ピン FireWire ポートに接続します (C)。

FireWire 周辺機器を取り付けるには：

- a. FireWire 周辺機器の未使用の FireWire 400 または 800 ポートに、FireWire 400 または 800 ケーブルを接続します。
 - b. FireWire400 または 800 ケーブルのもう一方の端を、LaCie Big Disk Quadra の未使用の FireWire 400 または 800 ポートに差し込みます (C)。
3. デジタル カメラのアイコンが Windows 上では [マイ コンピュータ] に、Mac 上ではデスクトップに表示されません。

*一部のカメラでは、この設定に対応していないか、または LaCie Little Big Disk Quadra のパフォーマンスが劣化します。

2.5. LaCie ハード ディスクを取り外す

FireWire、eSATA および USB 外部デバイスは「プラグ アンド プレイ」接続性を持っており、そのためドライブはコンピュータの動作中に接続・取り外しできます。ただし、故障を防ぐため、LaCie ハード ディスクを取り外すときにはこれらの手順に従うようにしてください。



Windows をご使用の方

1. 画面右下にある システム トレイから、[ハードウェアの安全な取り外し] アイコン (ハードウェアの上に小さい緑色の矢印が描かれたイメージ) をクリックします。
2. このアイコンが管理するデバイスを一覧表示した「...を安全に取り外します」というメッセージが表示されます。このプロンプトで LaCie ハード ディスクをクリックします。
3. ここで、「ハードウェアを安全に取り外すことができます」という (またはこれに類似した) メッセージが表示されます。以上で、LaCie ハード ディスクを安全に取り外せます。



Mac をご使用の方

1. ハード ディスク アイコンをゴミ箱にドラッグします。
2. デスクトップからアイコンが消えたら、ハード ディスクを取り外せます。



2.6. インタフェースの切り換え

FireWire、eSATA および USB 外部デバイスは「プラグ アンド プレイ」接続性を持っており、そのためドライブはコンピュータの動作中に接続・取り外しできます。しかし、故障を防ぐために、インタフェースの切り替え前にドライブのマウントを解除するかまたはドライブを安全に取り外すことが重要です。適切な取り外し手順については、セクション [2.5. Your LaCie ハード ディスクを取り外す](#) を参照してください。

3. フォーマットおよびパーティション (オプション)

LaCie ハード ディスクをお使いになるのが初めての場合、LaCie Setup Assistant によって、ハードウェアに必要とするフォーマットを行います。また必要に応じて、ハード ディスクを再フォーマットし、Windows、Mac、またはクロスプラットフォーム用に最適化できます。例えば、LaCie Setup Assistant を使用しハードディスクをMac (HFS+) 仕様にフォーマットしたが、Windows ユーザーと共有する必要が出てきた場合、ハードディスクをFAT 32 (MS-DOS) へ再フォーマットすることができます。

LaCie Setup Assistant が中断または停止された場合には、LaCie ハード ディスクをフォーマットすることが必要になります。ハード ディスクが [マイ コンピュータ] (Windows) またはデスクトップ (Mac) に表示されない場合は、適切にフォーマットされていません。

フォーマットについて

ハード ディスクをフォーマットすると、オペレーティング システムにより、ディスク上の管理情報の全消去、全セクタの信頼性を確認するためのディスクのテスト、不良セクタ (ひっかき傷などの物理的破損のあるセクタ) のマーク、あとで情報の検索に使用する内部アドレス テーブルの作成が行われます。データを保存できるようにするには、ハード ディスクをフォーマットする必要があります。

パーティションについて

ハード ディスクをパーティションと呼ばれるセクションに分割することもできます。パーティションとは、ファイルやデータを保存するために作成される、ハード ディスクのストレージ容量のセクションです。たとえば、ハード ディスク上に3つのパーティションを作成し、それぞれ、オフィス文書用、バックアップ用、マルチメディア ファイル用とすることができます。家庭やオフィスでハード ディスクを共有する場合は、ハード ディスクを使用するユーザー毎にパーティションを作成できます。パーティションの作成はオプションです。



重要な情報：再フォーマットを行う前に、ユーザー マニュアルとユーティリティをコンピュータにコピーしてください。再フォーマットするとハード ディスクから全データが消去されます。保護したいその他のデータ、あるいは継続して使用したいその他のデータがある場合は、その情報をコンピュータにコピーした上で再フォーマットしてください。

ファイル システム フォーマット

ファイル システムにはFAT 32、FAT 32 (MS-DOS)、Mac OS 拡張 (HFS+) の3つのカテゴリがあります。次の情報を参照して最適なフォーマットを決定してください。

次の場合は NTFS を使用します。

ハード ディスクを Windows 2000、Windows XP、または Windows Vista でのみ使用する場合。一般に FAT 32 に比べ、高いパフォーマンスを得られます。このファイル システムは、Mac OS X 10.3 以降で、読み取り専用モードに対応しています。

次の場合は HFS+ を使用します。

ハード ディスクを Mac でのみ使用する場合。一般に FAT 32 に比べ、HFS+ のほうが優れたパフォーマンスを得られます。このファイル システムは、Windows OS に対応していません。

次の場合は FAT 32 (MS-DOS) を使用します。

...ハード ディスクを Windows と Mac OS X 10.3 の両方で使用する、または Windows 2000 と、Windows XP/Windows Vista 間でハード ディスクを共有する場合。単一のファイル サイズは最大 4GB です。

3.1. ファイル システム フォーマットの決定

次の場合には、使用している LaCie ハード ディスクの現在のファイル システム フォーマットを知っている必要があります。

- ◆ LaCie ハード ディスクを再フォーマットする場合。現在のファイル システム フォーマットが、再フォーマットに使用するプロセスを決定します。
- ◆ LaCie ハード ディスクがコンピュータ上に表示されていない場合。この場合は、ファイル システム フォーマットによってオペレーティング システムが LaCie ハード ディスクを認識するのを妨げられている場合があります (例: HFS+ でフォーマットされたハード ディスクを Windows コンピュータに接続する場合)。



Windows をご使用の方

1. [マイ コンピュータ] アイコンを右クリックし、表示されるオプション メニューから **[管理]** を選択します。[コンピュータの管理] ウィンドウが表示されます。
2. [記憶域] から **ディスクの管理** を選択します ([ディスクの管理] オプションを表示するには、[記憶域] リストを展開することが必要な場合があります)。コンピュータに接続されているすべての記憶域デバイスに関する情報が右側のペインに表示されます。
3. LaCie ハード ディスクに対応するディスクを見つけます。

注記:[ディスク 0] は、内蔵ハード ディスクです。その他の記憶デバイスがコンピュータに接続されている場合は、上のペインに表示されるディスク情報を参照して、どのディスクが LaCie ハード ディスクかを判別します。

4. 上のペインのファイル システム欄は、それぞれのディスクのファイル システムを一覧表示しています。ディスクは [NTFS]、[FAT32] またはブランク (HFS+ などで、ファイル システム フォーマットが認識されていない場合) として表示されます。



Mac をご使用の方

1. [Finder] の [移動] メニューから **ユーティリティ** を選択します。
2. ディスク ユーティリティを開きます。
3. [ディスク ユーティリティ] ウィンドウの左側にあるディスク リストで、LaCie ハード ディスクに対応するディスクを見つけます。
4. それぞれのディスクは、少なくとも 2 つのリストがあり、1 つはデバイス自身を表し、1 つはディスク上のそれぞれのパーティションを表します。下部のインデントされているパーティションから 1 つを選択してください。
5. [ディスク ユーティリティ] ウィンドウの一番下にある情報領域の **フォーマット** 行を参照してください。

3.2. フォーマット:Windows をご使用の方

開始する前に、ドライブをコンピュータに接続して、セクション 3.1 のステップに従って LaCie ハード ディスクのファイル システム フォーマットを探してください。

- ◆ 使用しているディスクが FAT32 ボリュームとしてフォーマットされている場合は、セクション 3.2.1. FAT32 から NTFS へのフォーマットに進んでください。
- ◆ 使用しているディスクが HFS+ ボリュームとしてフォーマットされている (または Windows で認識されない) 場合は、セクション 3.2.2. HFS+ から NTFS へのフォーマットに進んでください。

3.2.1. FAT32 から NTFS へのフォーマット

LaCie Setup Assistant を使用して LaCie ハード ディスクに Windows と Mac コンピュータ間のデータ共有用の交換ボリュームを作成した場合、または Mac 上で LaCie ハード ディスクを FAT32 ボリュームとして再フォーマットした場合は、次の手順に従ってください。



注意：この手順に従うと、ハード ディスクから全データが消去されます。保護したい情報や今後も使用したい情報がある場合は、手順を実行する前にバックアップを取ってください。

1. [マイ コンピュータ] を右クリックし、[管理] (図 3.2.1-A) を選択します。[コンピュータの管理] ウィンドウが表示されます。
2. [記憶域] から **ディスクの管理** を選択します ([ディスクの管理] オプションを表示するには、[記憶域] リストを展開することが必要な場合があります)。図 3.2.1-B を参照してください。コンピュータに接続されているすべての記憶域デバイスに関する情報が右側のペインに表示されます。
3. LaCie ハード ディスクに対応するディスクを見つけます。FAT32 ボリュームのディスク割り当てバーを右クリックして、右クリック オプション メニューから **フォーマット...** を選択します (図 3.2.1-B)。



技術面での注意：LaCie Setup Assistant を使用して交換ボリュームを作成していない場合は、ディスクに関連付けられているボリュームは 1 つのみです。

次のページに続く

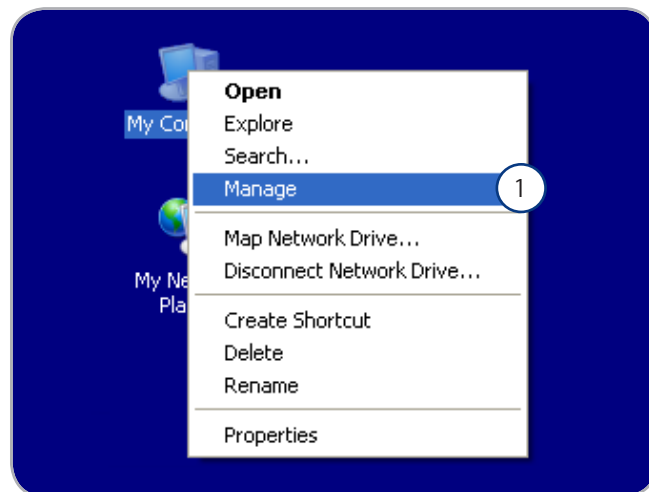


図 3.2.1-A

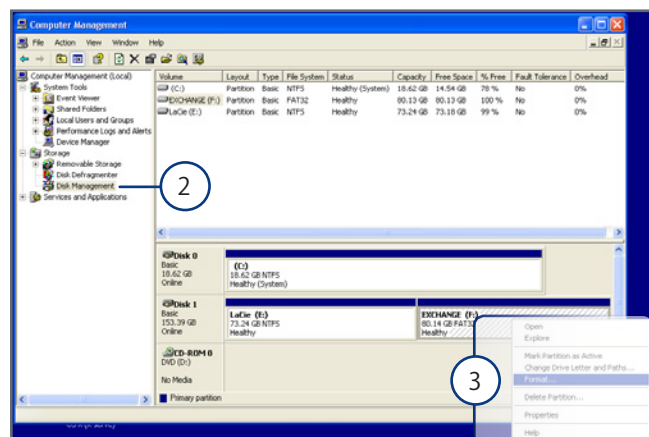


図 3.2.1-B

4. [フォーマット] ウィンドウ (図 3.2.1-C) が表示されます。
 - a. コンピュータ上で表示するディスクの名前を **ボリューム ラベル** フィールドに入力します。
 - b. [クイック フォーマットする] を選択します。
 - c. その他のオプションはデフォルト値のままにして、**OK** をクリックします。
5. フォーマット確認ダイアログで **OK** をクリックします。フォーマット プロセス中に、[コンピュータの管理] ウィンドウのディスクのステータスが「フォーマット中」に変わります。フォーマットが完了したら、ステータスは[正常]に変わります。図 3.2.1-D を参照してください。

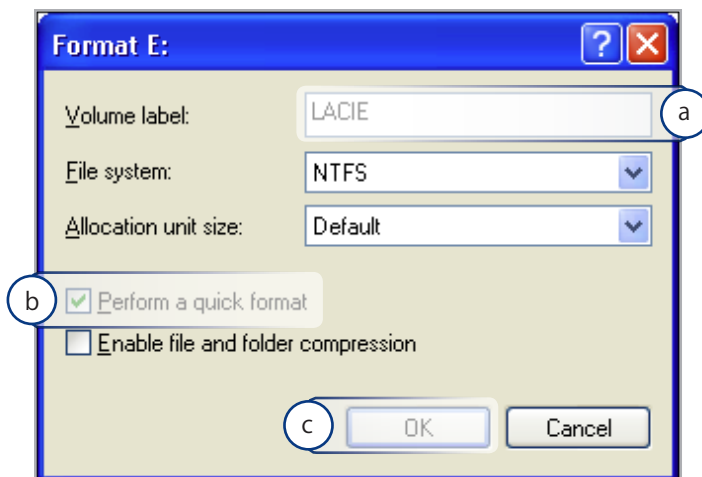


図 3.2.1-C

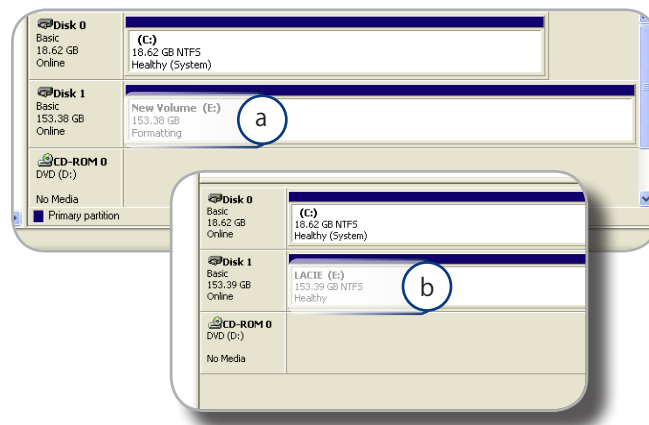


図 3.2.1-D

3.2.2. HFS+ (Apple ファイル システム) から NTFS へのフォーマット

LaCie Setup Assistant を使用してドライブを Mac で使用するようフォーマットした場合、または Mac 上で LaCie ハードディスクを HFS+ ボリュームとして再フォーマットした場合は、このセクションの次の手順に従ってください。



注意：この手順に従うと、ハード ディスクから全データが消去されます。保護したい情報や今後も使用したい情報がある場合は、手順を実行する前にバックアップを取ってください。

1. [マイ コンピュータ] を右クリックし、[管理] (図 3.2.2-A) を選択します。[コンピュータの管理] ウィンドウが表示されます。
2. [記憶域] から **ディスクの管理** を選択します ([ディスクの管理] オプションを表示するには、[記憶域] リストを展開することが必要な場合があります)。図 3.2.2-B を参照してください。コンピュータに接続されているすべての記憶域デバイスに関する情報が右側のペインに表示されます。
3. LaCie ハード ディスクに対応するディスクを見つけます。ディスク割り当てバーの [未割り当て] ボリュームを右クリックして、右クリック オプション メニューから **新しいパーティション...** を選択します (図 3.2.2B)。[新しいパーティション ウィザード] が開きます。

次のページに続く

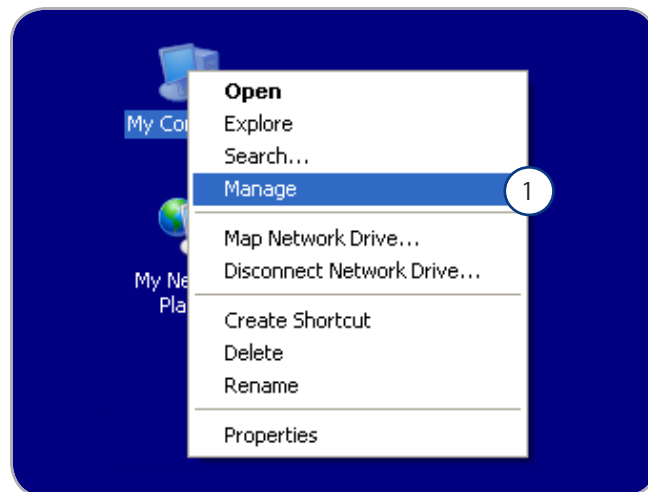


図 3.2.2-A

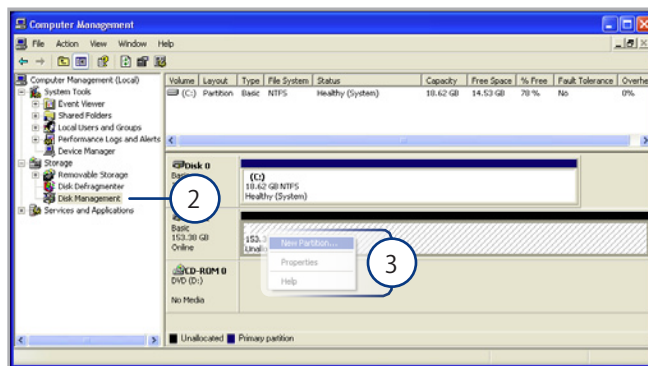


図 3.2.2-B

4. [Welcome to the New Partition Wizard (新しいパーティションウィザードによるこそ)] 画面で、[次へ] をクリックします。
5. プライマリ パーティション を選択して、次へ をクリックします。
6. ディスクに複数のパーティションを作成する場合は、最初のパーティションのサイズを [パーティションのサイズ (MB)] フィールドに入力します。それ以外の場合は、デフォルト値をそのままにして、[次へ] をクリックします。
7. ドライブに割り当てるドライブ文字を選択します。[次へ] をクリックします。
8. [Format this partition with the following settings] を選択して、コンピュータ上に表示するボリュームの名前を入力します。[クイック フォーマットする] を選択します。[次へ] をクリックします。図 3.2.2-D を参照してください。
9. 設定を確認し、完了フォーマットを開始します。
10. フォーマット プロセス中に、[コンピュータの管理] ウィンドウのディスクのステータスが「フォーマット中」に変わります。フォーマットが完了したら、ステータスは [正常] に変わります (b)。図 3.2.2-E を参照してください。

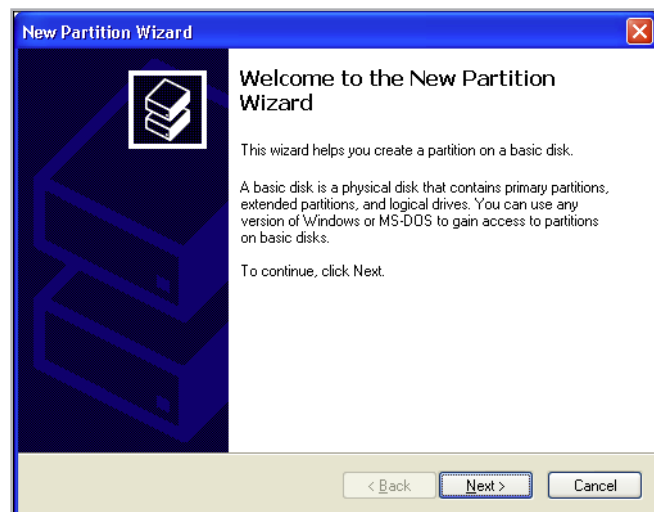


図 3.2.2-C

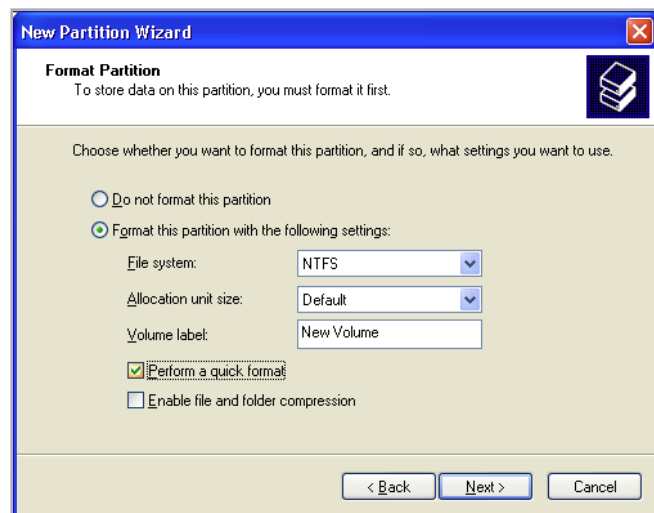


図 3.2.2-D

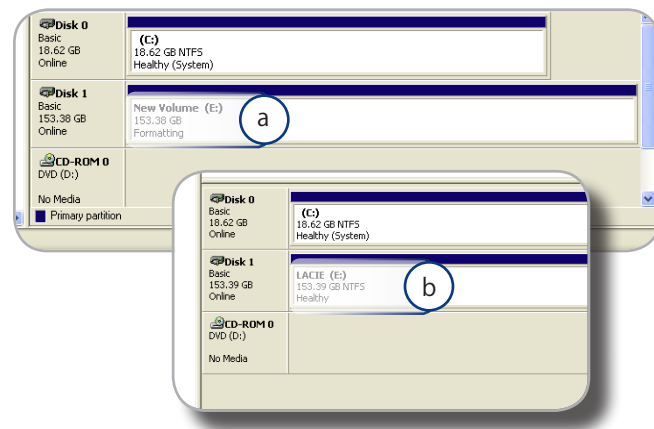


図 3.2.2-E

3.3. フォーマット:Mac をご使用の方



注意: この手順に従うと、ハード ディスクから全データが消去されます。保護したい情報や今後も使用したい情報がある場合は、手順を実行する前にバックアップを取ってください。

1. [Finder] の [移動] メニューから **Utilites** を選択します。
2. ディスク ユーティリティを開きます。
3. [ディスク ユーティリティ] ウィンドウの左側にあるディスク リストで、LaCie ハードディスクに対応するディスクを見つけます。各ディスクに対して、ドライブ コントローラ用のリストとディスク上のそれぞれのボリューム用のリストがあります。コントローラのリストを選択します (例: 図 3.3-A の “153.4 GB HDT72251…”)。
4. [パーティション] タブをクリックします。
5. **Volume Scheme** メニューからドライブを分割したパーティション数を選択します (最大 16)。[**Volume Scheme**] 領域にあるパーティション間のスライド バーを使用すれば、パーティションのサイズを調整できます。
6. [ボリューム情報] セクションで、各ボリューム (パーティション) の名前を入力し、ボリューム フォーマット (Mac OS 拡張、Mac OS 標準、UNIX ファイルシステム、または MS-DOS) を選択します。



技術面での注意: ボリュームを Windows ユーザーと共有するには、MS-DOS (FAT32) フォーマットを選択してください。



重要な情報: アップル社では、UNIX File System (UFS) を使用する特別な理由がない限り、Mac OS 拡張フォーマットを使用するよう推奨しています。これは、Macintosh ユーザーが従来から使用して慣れているためです。

8. [パーティション] をクリックします。警告メッセージを閉じる場合は、再度 [パーティション] をクリックして続行します。
9. 設定に従ってハード ディスクのフォーマットとパーティションが行われます。これでハード ディスクの使用準備が整いました。

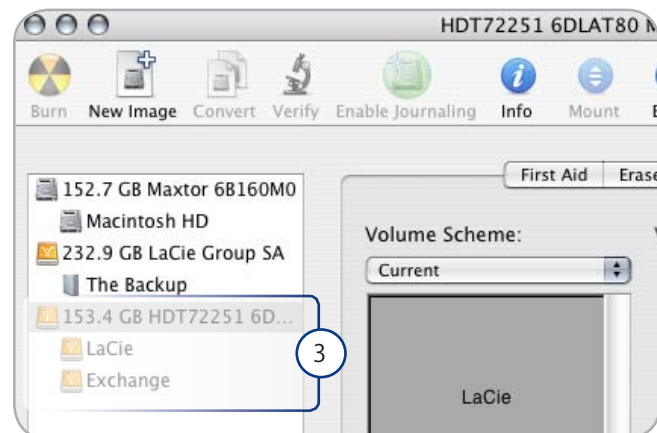


図 3.3-A

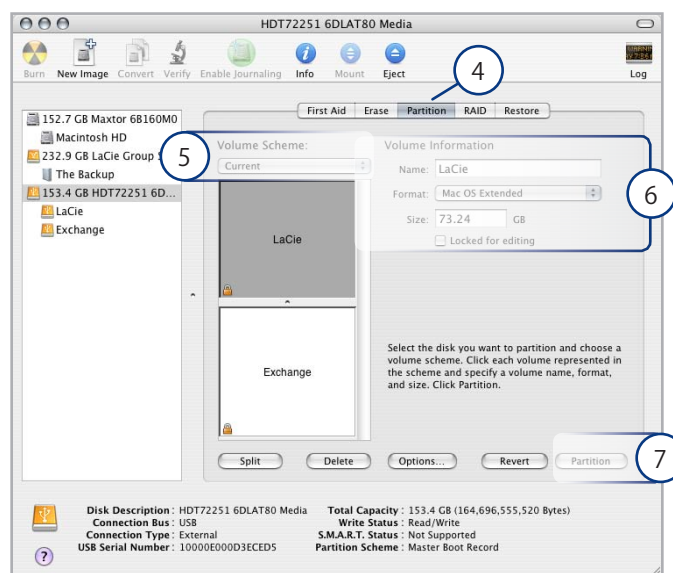


図 3.3-B

4. トラブルシューティング

LaCie ハード ディスクが正常に機能しない場合は、次のチェックリストを参照し、問題の原因をご確認ください。チェックリストの内容をすべて確認してもデバイスが正常に動作しない場合は、次の Web サイトに掲載されている FAQ をご一読ください – www.lacie.com/jp/FAQ の中から質問の回答が見つかる場合があります。また、ドライバのページもご覧ください。最新のソフトウェア アップデートを入手できます。

さらに詳しいサポートが必要な場合は、LaCie 販売代理店または LaCie テクニカル サポート (「[5. カスタマ サポートへの問い合わせ](#)」を参照) にお問い合わせください。

マニュアルの更新

LaCie では、市場の先端を行く包括的なユーザー マニュアルをお届けできるよう、常に努めています。新しいデバイスを迅速にインストールしてさまざまな機能を利用できるように役立つ、フレンドリーで使いやすいフォーマットをお客様に提供することが、当社の目標です。

お買い求めになられた製品の構成がマニュアルに記載されていない場合は、当社 Web サイトをご覧ください、入手可能な最新のバージョンのマニュアルをご確認ください。

www.lacie.com/jp

Mac のトラブルシューティング

問題	質問	解決方法
コンピュータがデバイスを認識しない。	LaCie ハード ディスクのアイコンがコンピュータに表示されていますか。	LaCie ハード ディスクのアイコンがデスクトップに表示されているはずですが、ハード ディスクが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	お使いのコンピュータは、本製品を使用するための必要なシステム要件を満たしていますか。	詳しくは、「 1.2. システム要件 」を参照してください。
	ハード ディスクの電源が接続され、電源がオンになっていますか (USB および eSATA のみ)。	Little Big Disk Quadra が USB または eSATA を介して接続されている場合は、電源が正しく接続されていること (「 2.1. 電源の接続 」を参照)、および電源を接続したコンセントが通電されていることを確認してください。
	インタフェースと OS に適した手順でインストールを行いましたか。	「 2.2. インタフェース ケーブルを接続する 」のインストール手順を再度確認してください。
	FireWire、eSATA または USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。	FireWire、eSATA または USB ケーブルの両端を調べ、両端がそれぞれのポートに正しく取り付けられていることを確認してください。ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。それでも HDD が認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。
	USB、eSATA、または FireWire ドライバが正しくインストールされ、使用可能な状態になっていますか。	[システムプロファイル (Apple システム プロフィール)] を開き、[デバイスとボリューム] タブをクリックします。デバイスがリストに表示されない場合は、ケーブルを再度チェックし、ここに記載されているその他のトラブルシューティングのヒントを試してみてください。
	その他のデバイスドライバまたは機能拡張とコンフリクト (競合) していませんか。	LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。

問題	質問	解決方法
コンピュータがデバイスを認識しない。	デバイスはフォーマットされていますか。	LaCie ハード ディスクが正しくフォーマットされているかどうかを確認してください。「 3. フォーマットおよびパーティション (オプション) 」
	お使いのコンピュータの OS で、ファイル システムがサポートされていますか。	コンピュータのマニュアルをチェックし、セクション「 3. フォーマットおよびパーティション (オプション) 」および「 3.1. ファイル システム フォーマットの決定 」を参照してください。
Mac OS 10.x でエラー メッセージが表示される。	FAT 32 ボリュームへのコピー中、「Error -50」というメッセージが表示されましたか。	ファイルまたはフォルダを Mac OS 10.x から FAT 32 ボリュームにコピーすると、特定の文字はコピーされません。対応していない文字には次のようなものがありますが、これだけには限りません。 < > \ / : ファイルとフォルダを調べ、このような文字が使われていないことを確認してください。
	スリープ モードからの復旧時に、デバイスが取り外されたことを伝えるエラー メッセージが表示されましたか。	このメッセージは無視していただいて結構です。デバイスがデスクトップに再マウントされます。LaCie ドライブは、コンピュータにスリープモードの設定を行ったときにスピンドアウンして電源を節約します。コンピュータがスリープから「立ち上がった」ときに、スリープ モードからスピンアップするために少し時間がかかる場合があります。
	FireWire デバイスの検出に問題がありますか。	Mac OS 10.2.x で FireWire の接続に問題がある場合は、Mac OS X 10.2.8 以降にアップグレードしてください。
デバイスの動作が遅い。	その他の USB、eSATA または FireWire デバイスが、同じポートまたはハブに接続されていますか。	他の USB、eSATA または FireWire デバイスをすべて取り外し、ドライブのパフォーマンスが改善されるかどうかを確認してください。
Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、デバイスの実行速度が速くならない。	Mac OS 9.x で使用していますか。	Mac OS 9.x 環境においては Hi-Speed USB 2.0 規格はサポートされていません。したがって、初代 USB 規格の遅い転送速度に制限されます。
	ドライブがコンピュータの USB ポートに接続されていますか、それとも USB ハブに接続されていますか。	LaCie ハード ディスクをコンピュータの USB 1.1 ポートまたはハブに接続していると、速度は速くなりません。Hi-Speed USB 2.0 デバイスは Hi-Speed USB 2.0 ポートまたはハブに接続されたときのみ、Hi-Speed USB 2.0 のパフォーマンス レベルで動作します。したがって、Hi-Speed USB 2.0 デバイスは、USB 2.0 よりも遅い USB 1.1 の転送速度で動作します。
	デバイスはコンピュータの Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されていますか。	ホスト バス アダプタとデバイスの両方に Hi-Speed USB 2.0 ドライバが正しくインストールされているかどうかを確認してください。不確かな場合は、ドライバをアンインストールして、再度インストールしてください。
	お使いのコンピュータと OS は、Hi-Speed USB 2.0 をサポートしていますか。	「 1.2. システム要件 」を参照してください。

Windows のトラブルシューティング

問題	質問	解決方法
コンピュータがデバイスを認識しない。	[マイ コンピュータ] にハードディスクのアイコンが表示されていますか。	[マイ コンピュータ]を開き、LaCie ハード ディスクのアイコンと割り当てられているドライブ文字を探します。ハード ディスクが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	お使いのコンピュータは、本製品を使用するための必要なシステム要件を満たしていますか。	詳しくは、「1.2. システム要件」を参照してください。
	ハード ディスクの電源が接続され、電源がオンになっていますか (USB および eSATA のみ)。	Little Big Disk Quadra が USB または eSATA を介して接続されている場合は、電源が正しく接続されていること (「2.1. 電源の接続」を参照)、および電源を接続したコンセントが通電されていることを確認してください。
	インタフェースと OS に適した手順でインストールを行いましたか。	「2.1. インタフェース ケーブルを接続する」のインストール手順を再度確認してください。
	FireWire、eSATA または USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか。	FireWire、eSATA または USB ケーブルの両端を調べ、両端がそれぞれのポートに正しく取り付けられていることを確認してください。ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。それでも HDD が認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。
	その他のデバイス ドライバまたは機能拡張とコンフリクト (競合) していませんか。	LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。
	Windows 98 SE または Windows Me を使用していますか。	Windows 98 SE および Windows Me は、LaCie Little Big Disk Quadra とは互換性がありません。「1.2. システム要件」を参照してください。
Windows 2000 で FireWire 800 が動作しない。	Windows 2000 Service Pack 4 をインストール済みですか。	Windows 2000 で FireWire 800 デバイスを使用するには、Service Pack 4 アップデートを必ずインストールしてください。これは Microsoft の Web サイトで、無料でダウンロードできます。
デバイスの動作が遅い。	その他の USB、eSATA または FireWire デバイスが、同じポートまたはハブに接続されていますか。	他の USB、eSATA または FireWire デバイスをすべて取り外し、ドライブのパフォーマンスが改善されるかどうかを確認してください。

問題	質問	解決方法
Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、デバイスの実行速度が速くならない。	ドライブがコンピュータの USB ポートに接続されていますか、それとも USB ハブに接続されていますか。	ハード ディスクがコンピュータの USB ポートまたは USB ハブに接続されている場合は、通常の状況です。Hi-Speed USB 2.0 デバイスは Hi-Speed USB 2.0 ポートまたはハブに接続されたときのみ、Hi-Speed USB 2.0 のパフォーマンス レベルで動作します。Hi-Speed USB 2.0 ポートまたはハブに接続されていない場合は、Hi-Speed USB 2.0 デバイスは遅い USB の転送速度で動作します。
	デバイスはコンピュータの Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されていますか。	ホスト バス アダプタとデバイスの両方に Hi-Speed USB 2.0 ドライバが正しくインストールされているかどうかを確認してください。不確かな場合は、ドライバをアンインストールして、再度インストールしてください。
	お使いのコンピュータと OS は、Hi-Speed USB 2.0 をサポートしていますか。	「1.2. システム要件」 を参照してください。
コンピュータの電源をオン/オフにすると同時に、ドライブの電源がオン/オフになります (USB および FireWire 接続の場合)。	これは正常です。ご使用のドライブには、自動切り換えの電源機能があります。そのため、ドライブをコンピュータに接続した場合、コンピュータを起動するとドライブが自動的にオンになります。同様に、コンピュータを停止するとドライブは自動的にオフになります。コンピュータに接続した状態でドライブの電源をオフにする場合、まずコンピュータがドライブにアクセスしていないことを確認し、次に 「2.5. LaCie ハード ディスクを取り外す」 に記載の手順に従います。ドライブを取り外したら、機器の正面にあるオン/オフ/オート ボタンを押して、ドライブをオフにします。	

5. カスタマ サポートへのお問い合わせ

2010年1月より、日本市場でのLaCie商品販売はエレコム株式会社が行っております。LaCie製品は海外でも幅広く販売されており、LaCie社が管理・運営するグローバルサイト、Webリンク先の情報、商品、ソフトウェア、サービス等は、日本市場でお取り扱いの無い、またはサポート対象外のものも含まれます。あらかじめご了承ください。

カスタマ サポートへお問い合わせになる前に

- 1. このマニュアルをよくお読みになり、「4.トラブルシューティング」を再度ご確認ください。
- 2. 問題点を明確にしてください。可能であれば、CPU 上の外付けデバイスを本ドライブだけにして、すべてのケーブルが正しくしっかりと取り付けられていることを確認してください。

「トラブルシューティング」のチェックリストにすべて目を通し、問題が該当しないかどうかを確認します。それでも本ドライブが正常に動作しない場合は、www.lacie.co.jp までお問い合わせください。次の情報をお手元にご用意の上で、当社へお問い合わせください。

情報	確認箇所
1. LaCie ハード ディスクのシリアル番号	デバイス背面のシール、または納品時の梱包箱にあります。
3. Macintosh/PC の機種	Mac をご使用の方：メニュー バーの Apple アイコンをクリックし、[この Mac について] を選択します。 Windows をご使用の方：[マイ コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ > 一般情報] を選択します。
4. オペレーティング システムのバージョン番号	
5. プロセッサの速度	
6. コンピュータ メモリ	Mac をご使用の方：[Finder] バーのアップル アイコンをクリックし、[この Mac について] を選択します。[More Info... (詳細情報...)] を選択します。Apple システム プロファイラが起動され、内蔵および外付け周辺機器がリストアップされます。 Windows をご使用の方：[マイ コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ > ハードウェア]
7. コンピュータにインストールされている内蔵および外付け周辺機器のメーカー名とモデル名	

LaCie カスタマ サポートへの問い合わせ

LaCie アジア、シンガポールおよび香港 連絡先： http://www.lacie.com/asia/contact/	LaCie オーストラリア 連絡先： http://www.lacie.com/au/contact/
LaCie ベルギー 連絡先： http://www.lacie.com/be/contact/ (フランス語)	LaCie カナダ 連絡先： http://www.lacie.com/caen/contact/ (英語)
LaCie デンマーク 連絡先： http://www.lacie.com/dk/contact	LaCie フィンランド 連絡先： http://www.lacie.com/fi/contact/
LaCieFrance 連絡先： http://www.lacie.com/fr/contact/	LaCie ドイツ 連絡先： http://www.lacie.com/de/contact/
LaCie イタリア 連絡先： http://www.lacie.com/it/contact/	LaCie 日本 連絡先： http://www.lacie.jp/contact/
LaCie オランダ 連絡先： http://www.lacie.com/nl/contact/	LaCie ノルウェー 連絡先： http://www.lacie.com/no/contact/
LaCie スペイン 連絡先： http://www.lacie.com/es/contact/	LaCie スウェーデン 連絡先： http://www.lacie.com/se/contact
LaCie スイス 連絡先： http://www.lacie.com/cafr/contact/ (フランス語)	LaCie 英国 連絡先： http://www.lacie.com/uk/contact
LaCie アイルランド 連絡先： http://www.lacie.com/ie/contact/	LaCie アメリカ合衆国 連絡先： http://www.lacie.com/contact/
LaCie インターナショナル 連絡先： http://www.lacie.com/intl/contact/	

保証について

2010年1月より、日本市場でのLaCie商品販売はエレコム株式会社が行っております。LaCie製品は海外でも幅広く販売されており、LaCie社が管理・運営するグローバルサイト、Webリンク先の情報、商品、ソフトウェア、サービス等は、日本市場でお取り扱いの無い、またはサポート対象外のものも含まれます。あらかじめご了承ください。

当社は、保証書に指定されている期間内において、正常なご使用のもとで生じたすべての製造上の欠陥に対して、本製品を保証いたします。保証期間内に本製品に欠陥が見つかった場合、当社の裁量で、欠陥品を修理または交換するものとします。次の場合は、保証が無効になります。

- ◆ 本製品を、標準外の使用環境または標準外の保守環境で使用または保管された場合
- ◆ 修理、改造、変更について当社の書面による明白な承認がないにもかかわらず、本製品を修理、改造、変更した場合
- ◆ 本製品を誤用・放置したり、落雷、電気関連の障害、荷造り不良、事故があった場合
- ◆ 本製品が不適切に設置された場合
- ◆ 本製品のシリアル番号を汚損または紛失した場合
- ◆ 破損部品が、ピックアップトレイなど交換用パーツである場合
- ◆ 本製品のケーシングの不正開封防止シールが破られている場合

当社およびその納入業者は、本製品の使用中に起こったデータ損失、あるいは結果的に生じたいかなる問題についても責任を負いません。

当社は、いかなる場合においても、プロパティ（動産、不動産）や設備装置の損傷または損失、利益または収入の損失、交換品にかかるコスト、サービスを使用できないことが原因で生じた支出または不都合などを含むがこれらに制限されない、直接的、実害または間接的などの損害については一切責任を負いません。

本製品の使用中に生じたデータのいかなる損失、改悪、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても当社はそのデータの回復または修復について責任を負いません。

いかなる場合でも、ドライブに支払われた購入価格を上回る金額を請求することはできません。

保証サービスを受ける場合は、LaCie テクニカル サポートにご連絡ください。LaCie 製品のシリアル番号をご用意ください。また、本製品が保証期間内であることを確認するために購入を証明するものをご提示いただくことがあります。

当社に製品を返品される場合は、購入時にその製品が入っていた箱にしっかりと梱包し、送料前払いでお送りください。

重要な情報：無償のテクニカル サポートをご利用になるには、次の Web サイトでオンライン登録を行ってください。www.lacie.com/jp/support/register